

令和8年度事業計画書

【社会教育行政】

- 1 社会教育の充実
- (1) 社会教育の充実
- ① 社会教育の推進

施策・事業名		実施内容		
		回数等	人数	概要(主な内容)
a 学習情報の提供				
1	市広報・ホームページ等の活用	随時	—	学習情報を提供するため、市広報・ホームページを活用し、市民センターをはじめとする各施設の情報や社会教育事業の案内を行う
2	市民センター広報、SNS等での発信	随時	—	学習情報を提供するため、市民センター広報の発行、SNS等を活用し、情報発信を行う
b ことばを大切にする教育の推進				
3	ことばを大切にする取組の推進	年間	—	教育振興基本計画の重点事項の一つである、「ことばを大切にする教育」を推進するため、「ことばと読書」「ことばの響き」「ことばの先人」を柱とした取組を社会教育の各分野において行う
4	郷土の歴史・文化に関する講座の実施	年間	—	郷土への理解を深めるため、各市民センターにおいて特徴ある事業を実施し、地域の資源を生かした学習活動を推進する
5	図書館事業との連携	年間	—	図書館の資料を活用した学習支援を行う
6	視聴覚ライブラリーの活用	年間	—	岩手県南第一地域視聴覚教育協議会の視聴覚教材を活用した学習支援を行う
c 生涯各時期における社会教育の充実				
ア 少年教育				
7	「学びの土曜塾」等の実施	年間	—	児童・生徒が郷土の歴史・文化についての理解を深めるため、地域特性を生かしながら、各市民センターにおいて特徴ある事業を実施する
8	ジュニアリーダーの養成	年間	—	青少年の社会参加活動を促進するため、市民センター等において養成講座の開催等により自主活動を支援し、リーダーを養成する
イ 青年教育				
9	青年リーダーの育成	年間	—	地域づくりやボランティア活動を担う青年リーダーの育成と、青年の自発的な学習活動を支援するため、各市民センターにおいて特徴ある事業を実施する
10	令和8年度二十歳のつどい	R9.1月	約1,000人	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますため、二十歳のつどい実行委員とともに式典及び記念行事を開催する
ウ 成人教育				
11	地域づくりリーダーの育成	年間	—	地域づくりを行う人材を育成するため、各市民センターにおいて地域の課題に即した事業を実施する
12	各種学習機会の提供と自主学習の普及奨励	年間	—	生涯各時期における社会教育の充実のため、各市民センターにおいて学習機会の提供と学習活動の支援を行う

施策・事業名		実施内容		
		回数等	人数	概要(主な内容)
エ 女性教育				
13	女性リーダーの育成	年間	—	研修への参加を促進するなど、女性リーダーの育成と活動への支援を行う
14	各種学習機会の提供と自主学習の普及奨励	年間	—	生涯各時期における社会教育の充実のため、各市民センターにおいて学習機会の提供と学習活動の支援を行う
オ 高齢者教育				
15	世代間交流の促進	年間	—	地域コミュニティの活性化を図るため、各市民センターにおいて世代間交流事業を実施する
16	各種学習機会の提供と自主学習の普及奨励	年間	—	生涯各時期における社会教育の充実のため、各市民センターにおいて学習機会の提供と学習活動の支援を行う
カ 自主的団体活動の育成支援等				
17	社会教育関係団体の活動支援	年間	—	生涯学習活動を行う団体の自主活動を奨励し、ホームページで団体を紹介するなどにより活動を支援する
ク 推進体制の充実				
18	社会教育委員会議	3回	20人	教育委員会に対する助言を行うため、社会教育法、一関市社会教育委員条例に基づき、社会教育委員を設置し、会議を開催する
19	市民センター運営協議会	各2回程度	—	市民センターにおける各種事業の企画・実施について検討をするため、市民センター等運営協議会設置要領に基づき、直営の市民センターに市民センター運営協議会を設置する
20	各種委員会議	随時	—	各種社会教育施設の運営等への助言を行うため、図書館協議会、博物館協議会、石と賢治のミュージアム運営委員会、芦東山記念館運営委員会、いちのせき健康の森運営委員会を設置する
21	庁内連携、関係機関・団体等との連携	随時	—	多様な学習活動の推進のため、庁内や関係機関・団体等と連携した学習支援を行う
ケ 必要課題に対する共通取組				
22	テーマに沿った取組を実施	年間	—	社会の変化に応じて必要な現代的課題について、年度毎に一つのテーマを決めて、市民センターにおいて、そのテーマに沿った取組を実施する 令和8年度テーマ「郷土愛の醸成による次世代の人材育成」

② 学びの成果を生かす環境づくり

23	学んだことを発表、共有、継承できる機会の提供	年間	—	学んだことを発表、共有、継承する機会を確保するため、市民センターまつりや文化祭などを開催し、学習成果を発表する場を提供する
----	------------------------	----	---	---

③ 地域づくりに取り組む人材、団体の育成

24	地域協働体の活動に対する支援	年間	—	地域協働体が地域課題の解決に向けて取り組む地域づくり活動について、必要な支援を行う
25	地域づくり計画の策定及び見直しへの支援	年間	—	地域協働体が地域づくり計画を策定するに当たり、意向調査や話合いのサポート、市の情報提供などの必要な支援を行うとともに、地域協働体が地域づくり計画の見直しを行う場合に必要な支援を行う
26	地域協働体の事務局職員の活動支援	年間	—	地域協働体の各種事業や事務処理の円滑化を図るため、地域協働体の事務局職員に対して、必要な知識、技術等を身につけるための研修会の開催やアドバイス等の支援を行う
27	市民センターの指定管理に向けた地域協働体への支援	年間	—	市民センターの指定管理への移行に当たり、段階的、年次計画的に移行し、既存事業の継続性を確保するため、市職員と地域で雇用する職員とが共同で施設を管理運営する期間を設ける

施策・事業名		実施内容		
		回数等	人数	概要(主な内容)
④ グローバルな人材の育成				
28	小学生英語の森キャンプ事業	1回	70人	英語での生活や外国文化の体験を通して英語力や国際感覚を養うため、小学6年生を対象に実施する
29	中学生英語の森キャンプ事業	1回	60人	英語での生活や外国文化の体験を通して英語力や国際感覚を養うため、中学2年生を対象に宿泊学習を実施する
30	郷土の歴史・文化に関する講座・体験活動の実施	年間	—	多文化、多様な価値観を理解する上で土台となる子どもたち自らのアイデンティティ(自分のよりどころ)を確立させるため、郷土の歴史・文化・自然などの理解を深める事業を実施する
⑤ ジェンダー平等の実現に向けた学習活動への支援				
31	ジェンダー平等の推進に資する事業の実施	年間	—	性別にかかわらず全ての人にとって生きやすい社会を目指し、各市民センターにおいてジェンダー平等の視点を取り入れた講座・研修等を開催する
32	男女共同参画サポーターとの連携	年間	—	性別にかかわらず全ての人にとって生きやすい社会を目指し、男女共同参画サポーターと連携して事業を実施する
33	企業等への出前講座の実施	年間	—	男女が共に働きやすい職場づくりのため、男女共同参画に関する研修会を実施する企業等に対し、講師を派遣する
⑥ 学校施設の開放				
34	学校施設開放事業	年間	—	市民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供するため、一関市立小学校及び中学校の体育施設の開放を行う
2 家庭教育の充実と地域の教育力向上				
(1) 家庭教育の充実				
① 関係機関との連携				
35	学校、PTA、地域、企業等との連携	年間	—	社会全体で子どもたちの学びを支援するため、各団体と連携・協力し、家庭教育に関する学習機会や学習情報の提供を行う
② 家庭の教育力向上に向けた取組				
36	家庭教育学級・講座、講演会等の実施	年間	—	家庭教育を支援するため、市民センターを中心に家庭教育学級・講座、講演会等を実施する
37	企業等への出前講座の実施	年間	—	学校や市民センター等が実施する事業に参加が困難な保護者等に学習機会を提供するため、家庭教育支援事業を実施する企業等に対し、講師を派遣する
38	「いわて家庭の日」の周知	年間	—	青少年の健やかな成長のため、「いわて家庭の日(毎月第3日曜日)」について啓発を行う(家庭を大切に、ふれあいを深めるきっかけとする「いわて家庭の日」の制定趣旨を踏まえ、各家庭の実情に応じて親子、家族の絆を深める日を設けることを呼びかける)
39	「いちのせきの家庭教育10か条」の普及	年間	—	命の大切さや我が家のルールなど、家庭で大切にしたいことを盛り込んだ「いちのせきの家庭教育10か条」の普及を図る
40	食育に関する講座、講演会等の実施	年間	—	食に関する知識と食を選択する力を修得し、健全な食生活を実践することができる人を育てるため、各市民センターにおいて講座、講演会等を実施する
41	「居間8ルール」「居間9ルール」の普及	年間	—	家庭でのしつけが重要であることから、スマートフォン・ゲーム機等の使用について、家庭において大切にしてほしい点をまとめた「居間8ルール」「居間9ルール」について、地域や家庭、学校などを通じて周知・普及を図る

(2) 地域全体で子どもを育む環境づくり

① 地域学校協働活動の推進

施策・事業名	実施内容		
	回数等	人数	概要(主な内容)
42 放課後子ども教室の実施	14教室 (11/21 小学校 区)	—	放課後などにおける子どもたちの安全で安心な活動の場として、市民センターや学校において、地域の参画を得ながら、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを実施する
43 学校支援活動の実施	20校 (20/35 小・中学 校区)	—	地域で子どもたちの学びを支えるため、地域コーディネーターが地域住民のボランティアを調整し、学校の求めに応じて授業補助や学習環境の整備などの支援活動を行う

② 教育振興運動の推進

44 教育振興運動の推進	年間	—	地域全体で子どもを育む環境づくりを進めるため、子ども、家庭、学校、地域、行政が連携し、地域の教育課題を地域単位で話し合い、地域の特色を生かして自主的に解決しようという実践的運動を全市(各地域)で推進する
--------------	----	---	---

3 学習環境の充実

(1) 社会教育環境の充実

① 市民センター機能の充実

45 学びと地域づくりの一体的な推進	—	—	地域が主体となって地域課題の把握、解決に向けて活動する学びと地域づくりの拠点として、市民センター機能の充実を図り、社会教育環境の向上を図る
--------------------	---	---	---

② 社会教育施設の整備

46 市民センター整備事業	—	—	市民の生涯学習と地域づくりの拠点施設として安心して利用できる環境を維持するため、市民センターの改修等を行う 一 関学習交流館空調設備改修 狐禅寺市民エンター照明LED改修 ほか
47 宿泊交流研修施設改修事業	—	—	市民が生涯学習活動や交流を行う施設として安心して利用できる環境を維持するため、宿泊交流研修施設の改修を行う セミナーハウス客室空調設備設置 セミナーハウス温泉設備更新 ほか
48 索道施設(祭時スノーランド)改修事業	—	—	祭時スノーランドの安全性を確保するため、索道施設の改修を行う 索道施設第2リフト主電動機分解整備 ほか

③ 組織の連携強化

49 市民センター所長会議の開催	2回 (予定)	—	社会教育行政の円滑な運営を図るため、市民センターにおける社会教育の推進等について、意見・情報交換を行う
50 市民センター事業情報交換会の開催	2回 (予定)	—	市と市民センターの社会教育担当職員が事務事業等について、情報交換を行う
51 市民センター社会教育士連携会議の開催	2回 (予定)	—	市と市民センターの社会教育士が社会教育の方針について意見交換や実践事例の共有、つながりづくりを行う

(2) 指導体制の充実

① 専門職員の配置

施策・事業名		実施内容		
		回数等	人数	概要(主な内容)
52	社会教育主事の配置	年間	2人	社会教育における専門的な指導助言を行うため、社会教育主事を配置する
53	生涯学習支援員の配置	年間	7人	主に青少年教育・成人教育・女性教育・高齢者教育・家庭教育事業の企画等や社会教育関係団体の活動を支援するため、生涯学習支援員を配置する

② 指定管理者との連携

54	社会教育主事の派遣	随時	—	市と指定管理者の意思疎通を図るため、指定管理者の求めに応じ社会教育主事を派遣し、意見・情報交換及び必要な助言等を行う
55	指定管理者の人材育成への支援	随時	—	指定管理者が社会教育に関する必要な知識・技能を習得できるよう、研修の機会を提供するなど、指定管理者の人材育成を支援する
56	地域課題を踏まえた事業計画の作成支援	随時	—	地域課題を踏まえた事業を実施していくため、地域の学習ニーズに合った事業計画の策定を支援する
57	いちのせき市民活動センターによる支援	随時	—	指定管理者による指定管理を行う市民センターにおける社会教育事業の充実を図るため、巡回等により社会教育事業の企画等の支援を行う

③ 研修機会の充実

58	各種研修会への派遣	随時	—	社会教育関係職員等の資質を高めるため、県立生涯学習推進センター等が主催する各種研修会等に職員や社会教育委員等を派遣し、専門性を高める
59	岩手県社会教育連絡協議会との連携	随時	—	社会教育関係職員等の資質を高めるため、協議会の研修会等に職員や社会教育委員等を派遣する
60	一関地方社会教育協議会との連携	随時	—	社会教育関係職員等の資質を高めるため、一関市と平泉町の社会教育関係職員・関係委員等で組織する協議会の研修会等に職員や社会教育委員等を派遣する
61	社会教育関係職員等研修会の実施	随時	—	社会教育関係職員等の専門性を高めるため、生涯学習支援員をはじめ社会教育関係職員等の情報交換、研修会等を行う
62	社会教育主事講習受講の支援	年間	2人	指定管理市民センターの社会教育関係職員が社会教育の専門的知識、技能を習得する際に要する経費の支援を行う

4 図書館機能の充実

(1) 情報拠点としての基盤と運営体制を整え、地域活動を支援する図書館

① 持続可能な図書館づくり

事業名		実施内容		
		回数等	人数	概要(主な内容)
63	図書館資料収集	年間	—	市民の多様な資料要求に応えるため、一関市立図書館資料収集方針に従い、資料を幅広く豊富に収集する

(2) 一関の文化を育み、継承する図書館

① 郷土資料や行政資料を計画的に収集・保存・提供

64	郷土資料収集提供事業	年間	—	歴史と文化の継承につながる資料や郷土の魅力を発見できる資料を収集保存し、提供する
----	------------	----	---	--

② デジタル化や情報発信による地域理解と活用の促進

65	郷土資料のデジタル化事業	年間	—	歴史と文化の継承につながる資料や郷土の魅力を発見できる資料のデジタル化を推進する
----	--------------	----	---	--

(3) 全ての市民に情報を届ける図書館

① 誰もが利用しやすい図書館サービスの充実

66	資料、情報提供事業	年間	—	市民の読書活動や自主的な学習活動を支援するため、図書館資料の紹介、貸出、予約、レファレンスサービスを実施する
----	-----------	----	---	--

(4) 学びの成果を挑戦につなげる図書館

① 生涯学習の成果を社会に活かせる支援

67	各種講座の開講	年間	—	おはなし会、映画会、講演会、研修会、講座、ワークショップ、コンサート、企画展など、知的好奇心や探求心に働きかける魅力的な事業を開催する
----	---------	----	---	---

② 地域課題の解決と交流を生む図書館づくり

68	地域課題解決支援	年間	—	個人や地域の抱える課題の解決に向けて、図書館資源を活用して支援します
----	----------	----	---	------------------------------------

5 子どもの読書活動の推進

(1) 多様な読書機会の確保

① 全ての子どもたちが本に接するための環境整備

事業名	実施内容		
	回数等	人数	概要(主な内容)
69 多様な書籍や電子書籍の充実	年間	—	読書の機会を増やすため、多言語対応をした書籍や電子書籍を充実させます

(2) デジタル読書環境の整備

① デジタル社会に対応した読書環境整備

事業名	実施内容		
	回数等	人数	概要(主な内容)
70 電子書籍の利用促進	年間	—	書籍と共に、電子書籍の利用促進を図ります

(3) 子どもの視点に立った読書活動の推進

① 子どもの主体的な読書支援

事業名	実施内容		
	回数等	人数	概要(主な内容)
71 家庭での読み聞かせ支援	年間	—	家庭での読み聞かせを促進するため、お話し会の実施や、年齢別ブックリストを配布し、本の楽しさを普及します

② 子供の将来に向けた支援

事業名	実施内容		
	回数等	人数	概要(主な内容)
72 図書を活用した調べ方の支援	年間	—	図書を活用した調べ方の支援から、高等教育機関で使用する論文検索までの調べ方の支援を行います

5 博物館等機能の充実

(1) 地域の歴史・文化に関する学習支援

① 常設展示の充実

事業名	実施内容		
	回数等	人数	概要(主な内容)
73 スマートフォン等のICTを活用した展示解説の充実	随時	—	スマートフォン等の無料アプリケーション「ポケット学芸員」を活用し、いつでも誰でも展示解説を受けられる環境の充実を図る

② 特別展や企画展等の開催

74 特別展 「武家のみやび—初代— 関藩主田村建顕と和歌—」	1回	—	元禄期の大名と公家社会との関わり、公家文化の地方への移入とその広がりを和歌を中心に紹介する
75 企画展 「Museum Bird—資料の中 の鳥とりどり—」	1回	—	当館が収蔵する資料を中心に鳥の描かれたものや意匠のものを、考古・歴史・民俗・絵画のジャンルを超えて紹介する
76 企画展 「熊野信仰と—関—海か らやってきた神様—」	1回	—	国の重要無形文化財に指定されている「室根神社のまつりバ行事」の開催に合わせ、熊野信仰の伝播という視点から、当地域の文化が海とのつながりの中でいかにして形成されたかを紹介する
77 企画展 「佐藤紫煙と知られざる泰 斗 滝和亭 ~日本画家 二人の下絵~」	1回	—	—関出身の日本画家 佐藤紫煙と、紫煙の師である滝和亭の下絵を、館蔵資料により紹介する

(2) 歴史・文化に親しみやすい環境づくり

① 教育普及(交流連携)事業の開催

78 和算講座、古文書講座等 講座	8講座	196人	地域の歴史や文化に関して理解を深めてもらうため、和算講座、古文書講座、超初心者のための絵の見方、講座「紙の文化史-入門編-」、講座「山口和の道中日記を読む—東北変—」、講座「絵画資料からみる熊野信仰」を実施する
79 館長講座	複数回	—	ふるさとの歴史を学び、理解を深めるため、開催中の企画展等のテーマに沿って当地方との歴史的な関わりを講演する
80 骨寺村荘園遺跡村落調 査研究報告会	1回	50人	骨寺について多角的に知ってもらうため、骨寺村荘園遺跡村落調査研究の様々な成果を公開する
81 大槻家関係資料研究報 告会	1回	—	重要文化財に指定された大槻家関係資料に関する理解を深めてもらうため、様々な視点での研究成果を公開する
82 体験学習	3事業	—	当館のテーマを体験を通して親しんでもらうため、はくぶつかんこどもくらぶ、博物館でアートを楽しむ、和算問題の解答を募集するなどの体験型の企画を実施する

② 学校や市民センターと連携した事業の展開

83 団体等の観覧に対する展 示解説等	随時	—	学校や市民センター等の団体が主催事業として来館する際、要望に応じて、展示に関する解説等を行う
------------------------	----	---	--

③ 博物館等の連携

84 各博物館等への資料の 貸し出し	随時	—	資料及び作品の保全を最優先としつつ、要請に応じて館蔵資料の貸し出しを行う
-----------------------	----	---	--------------------------------------

【文化財行政】

1 文化財の保存と活用

(1) 文化財の保存、調査及び活用

事業名		実施内容		
		回数等	人数	概要(主な内容)
85	文化財保存・調査事業	年間	—	調査委員による研究と文化財指定を行い、埋蔵文化財の発掘調査と適切な保護を実施する
86	文化財施設等整備事業	年間	—	各歴史的建造物等の老朽化対策や修繕等を行う
87	文化財公開活用事業	年間	—	市が所有・管理する文化財の適切な管理と一般公開を行う
88	文化財情報提供事業	年間	—	広報誌やHP等で情報提供を行い、市内の歴史・文化に関する標柱と解説板の整備を進める
89	地域文化財保護事業	年間	—	地域の文化財の持続可能な活用・保存方法を検討し、維持管理・保護を行う個人・団体へ支援する

(2) 骨寺村荘園遺跡の保全と活用

90	骨寺村荘園遺跡保全活用事業	年間	—	骨寺村荘園遺跡整備活用基本計画等に基づき、遺跡の保存活用を推進する
91	文化的景観保護推進事業	年間	—	小区画水田保全活用方針に基づき、景観保護事業や重要建物の修理・修景を実施する
92	骨寺村荘園遺跡調査整備事業	年間	—	考古学的調査や文献研究、講演会等の開催、史跡整備の検討を実施する
93	ひらいずみ遺産塾負担金	年間	—	県南教育事務所管内の児童生徒を対象とした「ひらいずみ遺産塾」を開催する

2 地域文化の伝承

(1) 民俗風習・民俗芸能の保存伝承

(2) 偉人・先人の顕彰

(3) 地域団体等への支援

94	民俗芸能伝承調査研究保存事業	年間	—	市内の民俗芸能を調査研究し、記録保存・継承につなげる補助事業で普及と活動支援を行う
95	歴史民俗資料等活用事業	年間	—	市内の歴史・民俗・考古資料を調査研究し、公開展示を行う先人の暮らしを体験できる機会の充実を図る